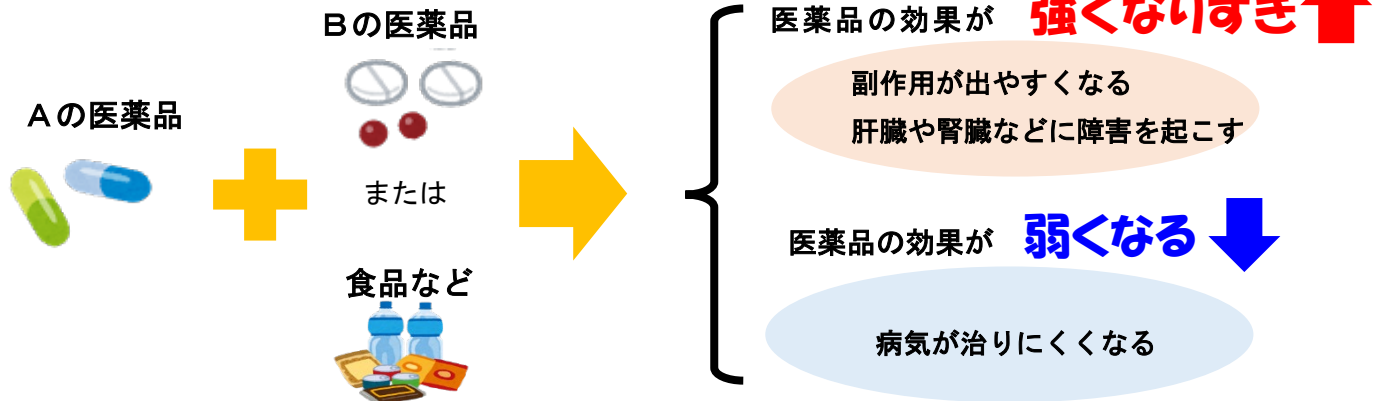


そうごさよう

医薬品には相互作用があるんだよ！

医薬品と医薬品、または医薬品と^{いんしょくぶつ}飲食物の組み合わせによっては、よくない影響が出ることがあります。

このよくない影響を相互作用といい、防がなくてはなりません。



<医薬品と飲み物>

医薬品は、水か^{さゆ}白湯（ぬるま湯）で飲んでください。水や白湯以外の飲み物は医薬品の作用を強めたり、弱めたりすることがあるので避けましょう！

食品	薬	相互作用
牛乳	一部の 抗 ^{こうきん} 菌 ^{やく} 薬 ^{やく} など	医薬品の効果が弱 ^{よわ} ま ^ま って ^ま しまう (カルシウムと医薬品がくっつくため)
お茶 コーヒー	一部の 咳 ^{せき} 止 ^ど め ^め など	医薬品の効果が強 ^{つよ} くなり ^{なり} すぎ ^{すぎ} て ^て しまう (咳止めにはカフェインと似た性質のものがあるため)
グレープフルーツジュース	一部の 高 ^{こうけつ} 血 ^{あつ} 圧 ^{やく} 薬 ^{やく} な ど	医薬品の効果が強 ^{つよ} くなり ^{なり} すぎ ^{すぎ} て ^て しまう (グレープフルーツジュースが体の酵 ^{こうそ} 素 ^そ の働 ^{はたら} きに影 ^{えい} 響 ^き して、 医薬品の分解を遅 ^{おそ} らせるため)
アルコール	様々な 医薬品	医薬品の効果が強 ^{つよ} くなり ^{なり} すぎ ^{すぎ} て ^て しまう (アルコールが医薬品の分解を遅 ^{おそ} らせるため)

<医薬品と食品>

食品	薬	相互作用
ビタミンKを多く含む食品 納豆、 ^{りよく} 緑 ^お 色 ^{しよく} 野菜 ^{やさい} （ブ ロッコリーなど）をお皿 いっぱい量を食 ^く べ ^る こと	こ ^{こう} け ^け つ ^つ せん ^{せん} やく ^{やく} 抗 ^{こう} 血 ^{けつ} 栓 ^{せん} 薬 ^{やく} (ワルファリン)	ビ ^ビ タ ^タ ミ ^ミ ン ^ン Kが血 ^ち 液 ^{りやく} を固 ^{かた} まり ^{まり} に ^に く ^く す ^す る ^る ワ ^ワ ル ^ル フ ^フ ア ^ア リ ^リ ン とい ^い う ^う 医 ^い 薬 ^{やく} 品 ^{ひん} の ^の 効 ^き 果 ^{くち} を ^を 弱 ^{よわ} め ^め て ^て しま ^ま い、 血 ^ち 液 ^{りやく} が固 ^{かた} まり ^{まり} や ^や す ^す く ^く な ^な っ ^っ て ^て しま ^ま う
カルシウムを多く含む食品 (小魚、チーズ、 ヨーグルトなど)	一部の 抗 ^{こう} 菌 ^{きん} 薬 ^{やく} など	医 ^い 薬 ^{やく} 品 ^{ひん} の ^の 効 ^き 果 ^{くち} が弱 ^{よわ} ま ^ま っ ^っ て ^て しま ^ま う (カルシウムが医 ^い 薬 ^{やく} 品 ^{ひん} とく ^く っ ^っ つ ^つ く ^く た ^た め)

「医薬品と飲食物」の組み合わせは、薬剤師などから注意を受けていても“うっかり”して
しまうことがあるので注意しましょう！

作成・発行元 北陸大学薬学部 准教授 大柳賀津夫
金沢大学医薬保健研究域薬学系 教授 松下 良
金沢大学医薬保健学域薬学類 5年生 中川璃子